

原子力災害

万が一、敦賀市及び美浜町に立地する原子力発電所で原子力災害が発生もしくは発生する恐れがある場合、敦賀市から屋内退避や避難の指示が出されます。

原子力災害対策重点区域の設定

敦賀市では、発電所からの距離に応じて、2つの区域が設定されています。

PAZ

原子力発電所から
半径概ね5km

◆ 予防的防護措置を準備する区域 (PAZ:Precautionary Action Zone)

原子力発電所において、特定の事故事象が発生した時に、事故の急速な進展を想定し、放射性物質が環境中に放出される前から、直ちに予防的な避難等を準備する区域

◆ 緊急防護措置を準備する区域 (UPZ:Urgent Protective Action Planning Zone)

原子力発電所で発生した事故が急速に進展する可能性等を踏まえ、緊急時における判断及び防護措置の基準に基づき、屋内退避や避難を準備する区域

UPZ

原子力発電所から
半径概ね5～30km

発電所名	PAZ		UPZ	
	発電所からの距離(目安)	地域名	発電所からの距離(目安)	地域名
敦賀発電所 1号機	なし		半径概ね5 km	白木、立石、明神町、 浦底、色浜、手
敦賀発電所 2号機	半径概ね5 km	白木、立石、明神町、 浦底、色浜、手	半径概ね5 km～30km	PAZ以外の市内全域
もんじゅ	半径概ね5 km	白木、立石、明神町、 浦底、色浜	半径概ね5 km～30km	PAZ以外の市内全域
ふげん	なし		半径概ね5 km	白木、立石、明神町、 浦底、色浜、手
美浜発電所 1, 2号機	なし		半径概ね5 km	白木
美浜発電所 3号機	半径概ね5 km	白木	半径概ね5 km～30km	PAZ以外の市内全域

防護措置（屋内退避・避難）の基準

万が一、原子力災害が発生した場合の防護措置（屋内退避・避難等）の基準は次のとおり定められています。

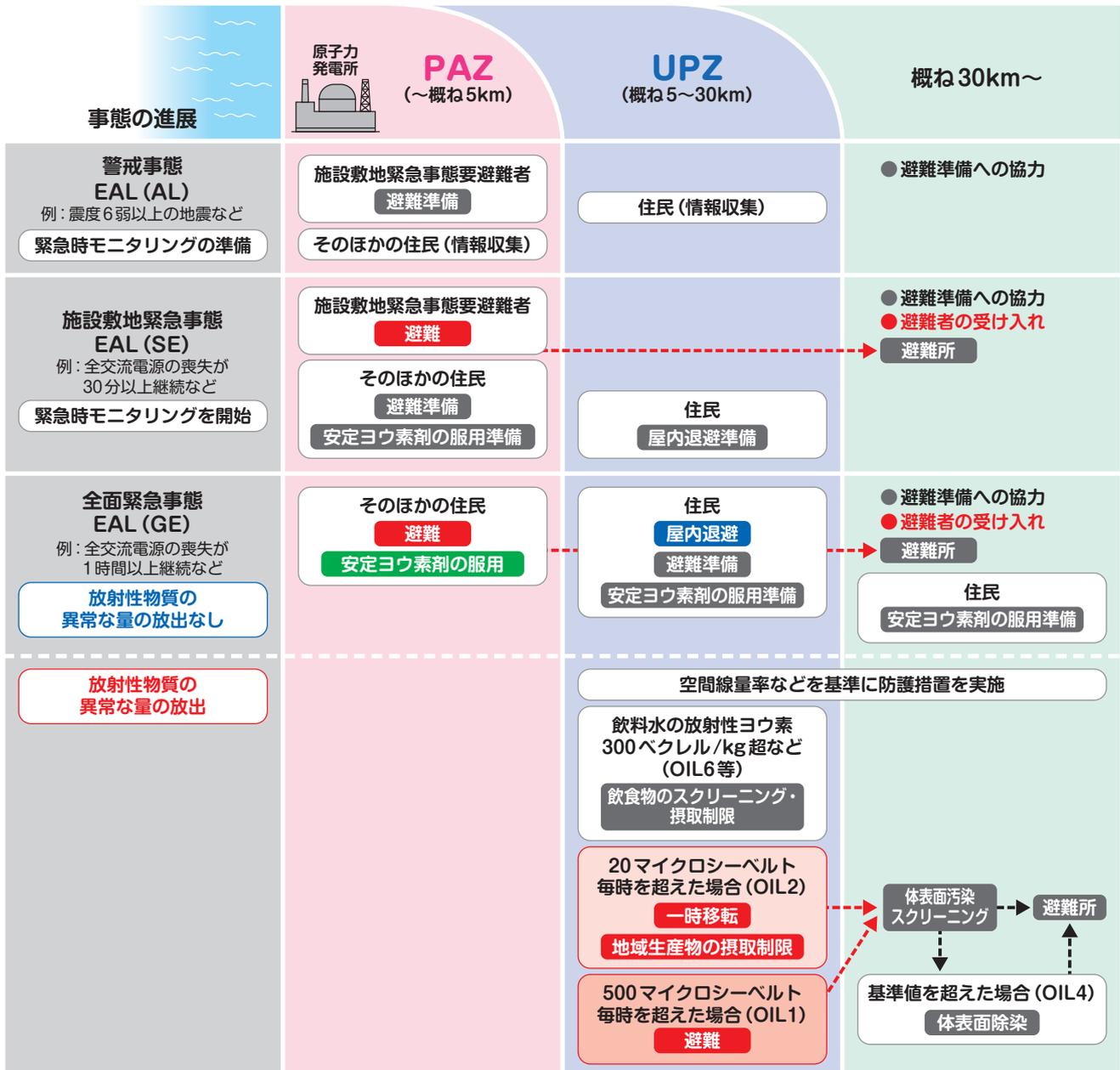
EAL 緊急時活動レベル (Emergency Action Level)

原子力発電所の緊急事態の区分を3段階に分け、事故の状況に応じて、住民の防護措置（屋内退避・避難）の実施を判断する基準

OIL 運用上の介入レベル (Operational Intervention Level)

放射性物質が放出された場合に、環境モニタリングでの空間放射線量の実測値により、住民の防護措置（避難・一時移転・飲食物の摂取制限）の実施を判断する基準

EAL・OILに基づく防護措置



出典：日本原子力文化財団HPを参考に作成

屋内退避の指示が出たら

- ・屋外にいる人は、自宅や近くの建物に入ってください。
- ・敦賀市からの情報に注意し、市から指示が出るまで外出を控えてください。
- ・窓やドアを閉め、外気を部屋の中に取り込まないように換気扇などを止めてください。
- ・屋外から帰った人は、顔や手をよく洗ってください。

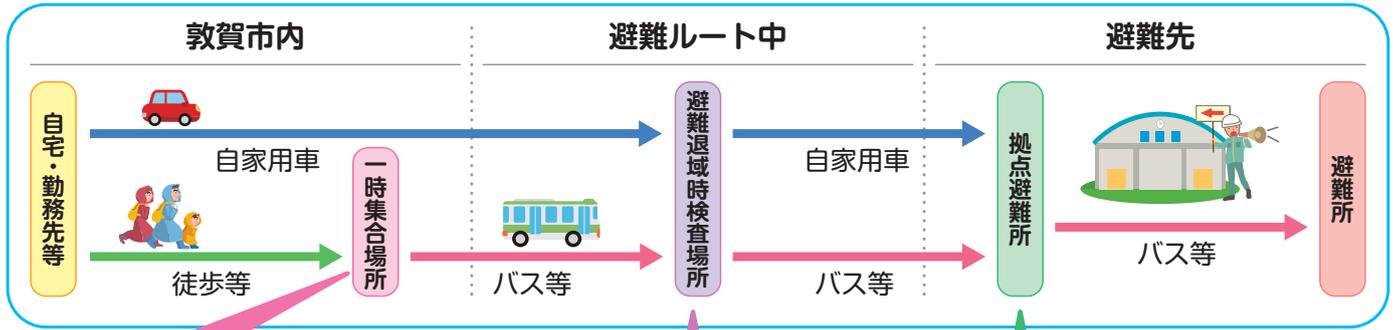


避難の指示が出たら

- ・避難先に向かうために携行する非常用持ち出し品を用意してください。
- ・服装は、雨がしみこまない合羽等を着て、放射性物質を取り込まないようマスクを着用してください。
- ・ブレーカーを落とし、ガス・水道の元栓を閉めて、窓やドアの戸締りをしましょう。
- ・出発するときには近隣の住民に声をかけて、まとまって避難するようにしましょう。



避難の流れ



一時集合場所
 バスで避難する場合の発着場所
 市内各小学校等

避難退域時検査場所
 避難ルート中で車両や衣服等に放射性物質による汚染がないか確認する場所
 発電所から30km周辺の公共施設や高速PA等

拠点避難所
 避難車両の駐車場所として立ち寄る場所
 福井県内：福井県立図書館、福井運動公園、福井競輪場
 福井県外：鴻ノ池運動公園、生駒市総合公園

安定ヨウ素剤

原子力発電所の事故によって放出された放射性ヨウ素は、食事や呼吸をすることでのどにある甲状腺に集まります。この放射性ヨウ素からの被ばく量が多い場合には、数年から数十年後に甲状腺がんなどを発症する可能性が高まることが知られています。安定ヨウ素剤は適切なタイミングで服用することで、放射性ヨウ素の甲状腺への取り込みを防ぐ効果のある医療用医薬品です。

※年齢が低い人ほど放射性ヨウ素の影響を受けやすいとされています。

敦賀市では配布対象者に対して安定ヨウ素剤の事前配布を行っています。

服用方法や配布対象者につきましては市のホームページをご確認ください。



敦賀市 安定ヨウ素剤 検索

UPZ (原子力発電所から概ね 5~30km)

※PAZを除く、市内すべての地域が該当します

→安定ヨウ素剤の配布は避難中に実施



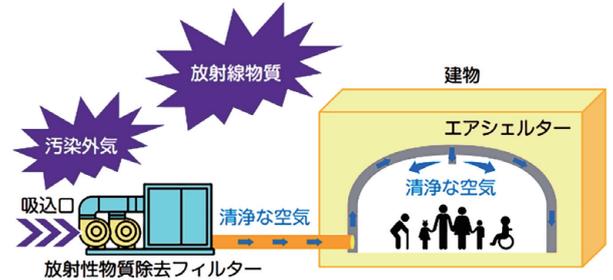
PAZ (原子力発電所から概ね 5 km)

→事前に全員に安定ヨウ素剤を配布

放射線防護対策施設

原子力発電所から概ね 10km 圏内において、原子力災害時に早期の避難が困難である等の理由により、一定期間その場にとどまらざるを得ない場合を想定し、4箇所の施設（西浦小中学校、常宮小学校、東浦小中学校、市立体育館）に対し、気密性の確保、放射性物質の影響緩和（外気の放射性物質除去フィルター等）等の対策を講じています。

放射線防護対策施設イメージ



広域避難先

避難が必要となった場合、原子力発電所周辺の風向きや放射性物質の拡散状況、避難先の状況等を踏まえて、避難先を決定します。

敦賀市の場合、県内避難先として福井市及び小浜市、県外避難先として奈良県奈良市、大和郡山市、天理市及び生駒市を避難先としています。

避難先の避難所については地区ごとに決まっていますが、避難所によっては自家用車の駐車場が小さいところもあることから、避難車両の一時保管及び避難所への誘導を行うための拠点となる拠点避難所に向かってください。拠点避難所から避難所へはバス等で移動します。



お住まいの小学校区	避難先	
	福井県内	奈良県内
敦賀西	福井市	奈良市
敦賀南	福井市	奈良市
敦賀北	福井市	天理市
松原	福井市	生駒市
中央	福井市	大和郡山市
沓見	福井市	生駒市
常宮	福井市 小浜市	生駒市
西浦	福井市 小浜市	生駒市
東浦	福井市	天理市
赤崎	福井市	天理市
咸新	福井市	天理市
中郷	福井市	奈良市
粟野	福井市	奈良市
粟野南	福井市	奈良市
黒河	福井市	奈良市



福井市内の拠点避難所



奈良県内の拠点避難所

避難住民の受入れ

おおい町及び高浜町の住民が原子力災害に伴う広域避難が必要な場合、敦賀市は県内避難先に指定されています。福井県もしくはおおい町及び高浜町から受入れの要請があったときには、敦賀市として受け入れ体制を構築し、市内の指定避難所を避難住民の受け入れ先として開設します。